

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2012 年 3 月 20 日作成)

小委員会名	耐震性能等小委員会	主 査 名：壁谷澤寿海 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	文教施設委員会	委員長名：文教施設委員会 主 査 名：長澤 悟
設 置 期 間	2011 年 4 月～2012 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	文部科学省から日本建築学会に対する委託研究「文教施設の耐震性能等に関する調査研究」を受けて設置された。東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分 M9）等により、文教施設に多数の被害が生じたことから、文教施設の構造的な被害状況等を詳細に調査し、被災した学校施設における教育活動の早期再開及び施設の早期復旧を図ることを目的とする。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：壁谷澤寿海（東京大学地震研究所） 幹事：中埜良昭（東京大学生産技術研究所）、前田匡樹（東北大学）、山田 哲（東京工業大学） 委員：市之瀬敏勝（名古屋工業大学）、井上範夫（東北大学）、加藤大介（新潟大学）、北山和宏（首都大学東京）、楠 浩一（横浜国立大学）、河野 進（京都大学）、腰原幹雄（東京大学生産技術研究所）、塩原 等（東京大学）、松本由香（横浜国立大学）	
設置 WG (WG 名：目的)	鉄筋コンクリート造 WG、鉄骨造 WG、木造 WG 構造種別ごとに調査団を構成して現地調査を行い、調査結果をとりまとめることを目的とする。	
2011 年度予算	0 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回（年度内計画を含む）
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、埼玉県、千葉県の前被災地における、学校建築を中心とする文教施設の被害状況を調査した。そのうえで、①被害統計の記録、②特徴的な被害の抽出、③被害の原因の推定、④観測地震動と被害（率）の関係の分析、⑤耐震診断と被害の関係、耐震補強の効果の検証、⑥耐震設計、耐震診断、補強設計、被災度判定の問題点等の抽出と今後の対策の検討、などを報告書に取りまとめて文部科学省に提出した。対象となった文教施設は約 680、調査回数は延べ 260 回にわたった。
委員会活動の問題点・課題	1. 特になし。